



事業名：フォト台紙販売事業

導入前

現状

- ・写真館業界の衰退
- ・フリーカメラマンの市場拡大
- ・個人が写真を撮る時代／カタチに残すニーズは増加傾向



課題

- ・拡大市場への参入ができておらず新しい価値の創出ができていない  
→一部、台紙商品の提供を試行するも、調整時間が多く、またアナログ作業による個人情報流出の危険性
- ・写真プリントの収益源の創出ができていない



導入後

対応策

- ・アルバム受発注システムの開発

効果

- ・受発注方式をアナログからIT化することでシステム上での管理が可能となった
- ・デジタル化により、個人情報を手入力することによるヒューマンエラー発生を防ぐことが可能となった（QRコードで情報を一括取り込み）
- ・顧客への自動返信メール機能・決済機能の追加を予定

